

令和 6 年奥能登豪雨に係る災害関連死の認定について

令和 7 年 8 月 12 日に開催した輪島市災害弔慰金等認定審査会の審査結果を踏まえ、下記のとおり令和 6 年奥能登豪雨の関連死と認定しました。

記

認 定：2 件

認定の内訳 ※御遺族から承諾をいただいた範囲内で公表しています。

番号	年代	性別	経緯・認定理由
1	70 代	男性	地震で自宅は全壊。近隣の避難所、2 次避難所、市外のみなし仮設住宅を経て、市内の仮設住宅へ入居するも奥能登豪雨で仮設住宅は床下浸水。慣れない土地での避難生活等により心身に相当な負荷が生じ、豪雨災害により仮設住宅が床下浸水の被害を受けたことで、さらに心身の負荷が重なり、脳出血を発症して死亡。災害（地震及び豪雨）と死亡との間に相当因果関係があると認められた。
2	70 代	女性	非公表

(参考) 審査結果：審査件数 2 件（認定 2 件）

奥能登豪雨に係る災害関連死の認定総数 2 件

能登半島地震に係る災害関連死の認定総数 125 件